

## 市議会だより（No.129）掲載記事の訂正について

2月1日発行の市議会だより（No.129）において、掲載内容に誤りがありました。おわびして訂正いたします。

【訂正箇所】 7ページ

◎委員会審査の主な内容◎

11月定例会の各常任委員会における主な議案の審査状況内容の「総務委員会」欄

**誤**

なお、委員会におきましては、今後の事務執行にあたっては、公金意識を強くもち、適正な予算の執行管理に努めるとともに、関係部局の緊密な連携のもと、事業の適正な進行管理を行うことはもとより、議会無視ともとれる行為を今後繰り返すことなく、議会に対して必要な時期に適宜、報告することを要請する旨の附帯決議を全会一致で決定しました。

「基本構想について」を可決

総務委員会



**正**

その結果、本構想には、市民の多くが疑問を持っている長崎新幹線の整備が前提として扱われているため賛成できないなどの反対意見が出されました。

一方、本構想の推進にあたっては、新たな雇用の創出が見込まれ、実現に向けて努力してほしい。本市が抱える若年層を中心とした人口減少の問題に対しては危機感を持っており、定住人口の増加策を、全庁的な視点に立って着実に実施してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

「基本構想について」を可決

総務委員会

本構想は、現行の構想が、平成22年度に計画の最終年度を迎えるため、地方自治法の規定に基づき提案されたもので、平成23年度から平成32年度までの10年間を計画期間とする、長崎市第四次総合計画の基本構想です。

議案は、9月定例会で上程後、継続審査となり、閉会中に3日間の審査を行うなど、慎重に審査しました。

その結果、本構想には、市民の多くが疑問を持っている長崎新幹線の整備が前提として扱われているため賛成できないなどの反対意見が出されました。

一方、本構想の推進にあたっては、新たな雇用の創出が見込まれ、実現に向けて努力してほしい。本市が抱える若年層を中心とした人口減少の問題に対しては危機感を持っており、定住人口の増加策を、全庁的な視点に立って着実に実施してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。